

○ハード対策の取組内容〔令和元年度実績〕

資料2

項目	分類	具体的取組	能代市	北秋田市	大館市	鹿角市	秋田県	気象庁	東北地整
■洪水を安全に流すためのハード対策									
	河道掘削								米代川の流下能力の低い区間において、河道掘削等を実施 ・大館市長坂地区で河道掘削を実施 ・能代市二ツ井町仁鮎地区で河道掘削を実施 ・H25.8洪水で浸水した家屋に対する家屋浸水対策(川口築堤)完成
■危機管理型ハード対策									
	堤防天端の保護 堤防裏法尻の補強								米代川の氾濫リスクの高い区間において、堤防天端の保護、堤防裏法尻の補強を実施。H29年度は北秋田市舟場地区等で堤防裏法尻の補強を実施。H29年度をもって完成
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
	簡易水位計等の 基盤整備						<予算措置等> ・危機管理型水位計の設置位置を具管理河川減災対策協議会で確認 ・危機管理型水位計の設置完了。		・危機管理型水位計を34基設置済み(現在稼働中) ・簡易型河川監視カメラを4基設置済み(現在稼働中)

○ソフト対策の取組内容〔令和元年度実績〕

項目	分類	具体的取組	能代市	北秋田市	大館市	鹿角市	秋田県	気象庁	東北地整	
①住民が自ら安全に避難するための取り組み【逃げ遅れない】										
■リスク情報の周知や防災教育・訓練等に関する事項										
防災訓練	1	<ul style="list-style-type: none"> 米代川流域内合同危機管理演習)・大規模洪水を想定し、関係機関の防災システムやタイムラインを活用した、実践的な訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○「情報伝達方法」 ・5月10日に実施した「洪水対応演習」で、協議会各関係機関参加により情報伝達訓練を実施。 ○「タイムラインの深度化」 ・直轄区間3市はワークショップを実施済み。 	<ul style="list-style-type: none"> (総合防災訓練) ・5月24日 ・大雨により米代川が増水し水防警報が発表された予想で、河川防災ステーションとなっている道の駅ふたつを主会場に能代市総合防災訓練を実施 ・約500名 	<ul style="list-style-type: none"> (県民防災の日訓練) ・5月24日 約370名 ・直下型地震を想定した住民参加による防災訓練を実施 (総合防災訓練) ・8月25日 26団体、約400名 ・米代川洪水及び直下型地震を想定した住民参加による防災訓練を実施 	<ul style="list-style-type: none"> (大館市総合防災訓練) ・11月11日 30機関、約400人 ・数日来的大雨による河川増水後の地震を想定した総合防災訓練を実施。防災関係機関と地域住民が災害発生時の応急対策について実践的な訓練を実施 	-	<ul style="list-style-type: none"> (秋田県総合防災訓練) ・9月1日男鹿市・大潟村で実施 ○地震を想定した避難所開設、救出救助等を実施 ○大雨災害を想定した土砂災害対応訓練を実施 (支援) ・市町村主催の水防訓練への支援(開催場所の提供、水防資材の貸与) ・防災訓練に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害・全国防災訓練 5月24日 訓練用の土砂災害警戒情報の発表および解除を発信 ・秋田県総合防災訓練 9月1日 男鹿市とホットライン伝達訓練を実施。男鹿市災害対策本部に緊急地震速報の音声・画像を提供し、防災フェアに出展 	<ul style="list-style-type: none"> 【継続】(支援) ・6月2日 北秋田市水防訓練(北秋田市で災害対策車両の展示及びパネル展を実施)
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表 ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に作成・周知済 出前講座、防災フェアなどでハザードマップの周知活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの修正を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの修正 	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水ハザードマップを作成中 	-	<ul style="list-style-type: none"> (区域図作成) ・完成 三種川 ・作成中 米代川、長木川、下内川、綴子川、小猿部川、藤琴川 		<ul style="list-style-type: none"> 公表済み
防災教育・広報	3	<ul style="list-style-type: none"> ・教育機関等と連携し、小学校等への「出前講座」の拡充実施 ・「就業体験」や「現場見学」など、いろいろな機会を利用した防災講話等の実施(近年の災害を意識した講座) ・教育機関等と連携し、学習指導計画の作成を支援(教材・資料の提供含む)し、県管理河川を含む協議会に関連する市町村全ての学校に共有 	<ul style="list-style-type: none"> <出前講座> [小中学校] ・5月～10月 5校・延べ7回 ・避難訓練、防災講話を実施 [自治会等] ・4月～3月 延べ13回 ・避難訓練、防災講話を実施 	<ul style="list-style-type: none"> <出前講座> [自治会等] ・自治会、高齢者大学等5団体 182名 ・防災、自主防災組織等に関する講話 [秋田北鷹高校] ・課題研究授業(テーマ「防災・減災」) ・5月～12月 計4回 	<ul style="list-style-type: none"> <出前講座> ・4月～3月(15回)町内会など15団体ー約533名 ・市の防災計画、危険箇所、避難方法などについて、市民等に周知 ・小中学校の防災キャンプの実施支援 		<ul style="list-style-type: none"> <出前講座> ・9月～11月(6回) ・中学校1回、自治会等5回 ・防災に関する出前講座を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災士を自主防災アドバイザーとして自主防災組織へ派遣 ・自主防災組織のリーダー等を対象とした自主防災組織育成指導者研修会を県内6市町で開催 ・出前講座を県内の自主防災組織等4箇所実施(羽後町等) ・学校安全外部指導者派遣事業を県内4校で実施(大潟小学校等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会と連携した学校安全外部指導者派遣事業 県教育庁主催の学校安全推進委員会の外部指導者派遣事業に協力し、10校へ講師を派遣 ・地方公共団体防災担当者向け気象防災ワークショップ 秋田県と協力し避難勧告等の判断のポイント学ぶため防災対応の疑似体験 6月土砂災害編、11、2月風水害編 	<ul style="list-style-type: none"> <出前講座> ・「防災」をテーマとした出前講座を実施 【能代市防犯協会総会(5/21)】 ・「防災」をテーマとし、出前講座を実施 【鹿角市立八幡平小学校(7/4)】 ・「防災」をテーマとし、出前講座を実施 【北秋田市立前田小学校(9/30)】
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・流域住民の防災意識向上を図るため、イベント等での広報・啓発活動の強化 	<ul style="list-style-type: none"> <パネル展示等> ・防災フェアにおいてハザードマップ、避難の心構えなどの啓発を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種防災訓練等において防災意識の向上を図るとともに防災フェアを開催しパネル展示等による広報・啓発活動を実施 ・講座及び訓練参加者へ備蓄食料品の提供等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントや出前講座の際に登録制メールへの登録の呼びかけを行うなど、広報・啓発活動を行った 	<ul style="list-style-type: none"> ・要望があった自治会及び自主防災会に出向き防災訓練を実施した。 ・4月～12月(30回)-1,566名 		<ul style="list-style-type: none"> 【継続】 <減災対策協議会資料の情報提供> ・引き続き県管理河川減災対策協議会の資料を県のホームページで随時更新のうえ、県管理河川の現状や課題、対応方針等の情報を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・お天気フェア 7月21日日本赤十字社秋田支部に後援いただき、住民の防災意識向上や、広報・啓発のためのイベントを実施 	<ul style="list-style-type: none"> <広報パネル展示> ・各種イベントでパネル展を実施 ・カラーズ・ミーティング in 秋田(北秋田市)(8/18) 能代市産業フェア(10/5～6) 北秋田市産業祭(10/19～20) 大館市種苗交換会(10/30～11/5) (広報ダムチラシ配布) ・小又川(ダム下流)の浸水が想定される世帯へダムの緊急放流や浸水範囲を示したチラシを配布。(R2.4.1)
土地利用 対応	4	<ul style="list-style-type: none"> ・水害常襲地区の利用・建築等への助言・指導を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・水害常襲地区の利用・建築等への助言・指導を随時実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・水害常襲地区の利用・建築等への助言・指導を随時実施(継続) 	<ul style="list-style-type: none"> ・水害常襲地区の利用・建築等への助言・指導を随時実施(継続) 	<ul style="list-style-type: none"> ・水害常襲地区の利用・建築等への助言・指導を随時実施(継続) 				

○ソフト対策の取組内容【令和元年度実績】

項目	分類	具体的取組	能代市	北秋田市	大館市	鹿角市	秋田県	気象庁	東北地整
■発災時の迅速かつ確実な避難に関する事項									
	防災計画	5 ・住民目線のタイムラインの作成と改善(市独自を含む)	・洪水発生後には検証しタイムラインの見直しを検討	・作成したタイムラインと実際の災害時の行動の調整を行い、見直しを検討	・災害時に対応を行う庁内各課を対象としたタイムラインワークショップを行い、タイムラインの深度化を図った	・初動体制マニュアル及びタイムラインの修正	【継続】 〈タイムラインの作成〉 ・H29年度末にタイムラインを作成。必要に応じて見直し。	・県、市町村でのタイムライン作成支援	
	情報提供	6 ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充 災害情報メール、緊急速報メール、防災ラジオ など	・避難勧告等の発令や避難所開設情報等は防災行政無線、災害情報メール等で随時周知 ・早川水門(悪土川)の閉鎖状況について、悪土川流域自治会へ電話連絡するとともに防災行政無線で周知	・防災ラジオ、防災行政無線、災害情報メール等で随時周知	・電話並びにFAXへの緊急時情報の配信が可能になった登録制メールを活用し、災害情報などを住民に周知	・防災ラジオ、防災メールを活用し、災害情報などを住民に周知	・Lアラートによる避難勧告等の配信訓練を実施(5月22日) 【継続】 ・「河川砂防情報システム」によるリアルタイムな水位情報等の提供	・ホットラインによる情報提供(随時)	【継続】 ・水防警報・洪水予報配信(随時) ・ホットラインによる情報提供(随時) 〈ダム情報提供〉 ・災害情報等について、森吉山ダムの警報設備、北秋田市の防災ラジオを相互に往復ツールとして活用(R2.4.14) ・ダムの貯水容量を洪水調節容量に活用するため、関係機関により治水協定を締結。
		・洪水時の情報を入手しやすくする。気象情報発信時の「危険度色分け」や「警報級の現象」等の改善						・防災気象情報の改善 8月実施予定 最新の災害データを基に大雨(浸水害)、洪水の注意報・警報基準の見直しを実施	

②災害時に人命と財産を守る水防体制の強化【備える】

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する事項									
水防体制		・水防団等との重要水防箇所の巡視(市独自を含む)	〈合同巡視〉 ・6月20日 国土交通省が開催する重要水防箇所合同巡視に参加	〈合同巡視〉 ・国土交通省が開催する重要水防箇所合同巡視に参加(6/11)	〈合同巡視〉 ・5月18・21日 県及び市管理河川について関係機関が合同で巡視・点検を実施 ・6月22日 国が開催する重要水防箇所合同巡視に、市長及び市の消防機関が参加	・大雨に関する気象情報の発表時に消防本部にて重要カ所の確認	【継続】 〈合同巡視〉 ・国が開催する重要水防箇所合同巡視に参加 ・県管理河川における県・市町村合同巡視を実施		〈合同巡視〉 ・6/11北秋田市・6/20能代市・5/29大館市の市長の参加をいただき、市の消防機関、県(振興局)、国で重要水防箇所等の合同巡視を実施 ・8/6能代市、8/8大館市、8/9北秋田市で市長参加のもと、河川愛護団体の協力により、水防担当者・地元建設業協会と合同船上巡視を実施
	7	・水防団・自主防災組織などが参加した水防訓練の実施	〈水防訓練〉 ・5月24日 総合防災訓練と合わせて実施 ・消防団による水防工法訓練	〈水防訓練〉 ・6月2日 参加者130名 ・消防団員等による水防工法実施訓練を実施	〈水防訓練〉 ・5月27日 参加者70名 ・消防団員等による水防工法実施訓練を実施	〔水防訓練〕 ・5月26日 参加者256名 ・鹿角市・小坂町の合同実施 ・消防署、消防団、消防団協力事業所(2団体)、鹿角市自主防災会(9団体)が参加し、訓練を実施	【継続】〈支援〉 ・市町村を対象に水防連絡会を開催 ・市町村の水防訓練に参加・支援	実績なし。	水防訓練時に、災害対策車両(排水ポンプ車等)の展示。
		・要配慮者利用施設等の避難確保計画・避難訓練への支援	・平成30年度に浸水想定区域内の福祉施設に対し避難確保計画の作成支援として講習会を実施しており、その後は個別に作成支援を実施	・浸水想定区域内の福祉施設に対し避難確保計画の作成支援を実施しているが、令和元年度は取り組みをさらに強化し、国土交通省が行っている要配慮者利用施設講習会プロジェクトによる支援を受け講習会を実施 11/29 座学方式 1/21 ワールドカフェ方式	・浸水想定地域内に立地する要配慮者避難施設等を訪問し、改製後の水防法や今後の対応についての説明を行い、避難確保計画の作成や避難訓練を行うよう働きかけた	・避難確保計画の作成に伴う説明会を実施。	・市町村に対して要配慮者利用施設への水位情報の伝達、平時に置ける避難確保計画の策定等を働きかけた 【継続】〈支援〉 ・県管理河川減災対策協議会での避難確保計画作成の手引き等の情報を提供	・要配慮者利用施設の避難確保計画作成のための講習会において、「段階的に発表する防災気象情報の避難行動への活用について」の講義を実施。 11月15日横手市 11月29日北秋田市	・北秋田市において、要配慮者利用施設避難確保計画作成講習会実施 前期:11/29(座学方式) 後期:1/21(ワールドカフェ方式)
	8	・水防資機材の保有状況の確認、情報共有 ・確実な水防資機材の補充	・水防活動等に必要資機材のストック状況の確認及び補充	・水防資機材の保有状況について消防本部と情報を共有	〈点検確認〉 ・水防資機材の在庫確認や点検	・水防倉庫の定期的な在庫確認を実施	【継続】 ・5月に水防倉庫の資材を確認し、必要に応じて資材の補充を実施	【継続】 ・定期的な水防資材を確認し、不足資材の補充を実施	

③一刻も早く日常生活を取り戻すための取り組み【早期の回復】

■排水訓練、地域連携に関する事項									
排水施設	9	・排水訓練の実施に合わせた、地域住民への周知活動の実施 ・排水施設等の情報共有							〈活動の周知〉 ・出水時対応の理解を得るため、排水作業訓練において周辺住民にお知らせし実施する。4/17能代市悪土川で排水ポンプ稼働試験実施
		・大規模氾濫時の排水計画(案)を作成							・排水計画作成に必要な基礎資料を収集整理 ・米代川流域で優先順位の高い部分(市街地部分)から計画を作成
自治体間連携	10	・自治体間相互連携(流域共助)の強化(受け入れ体制強化)	・米代川減災対策協議会等への参加	米代川減災対策協議会等への参加による情報共有	・9月に行われた秋田県総合防災訓練に参加し連携を深めた ・米代川減災対策協議会等での情報共有を図っている	-	-		

：支援

○ハード対策の取組内容〔令和2年度計画〕

項目	分類	具体的取組	能代市	北秋田市	大館市	鹿角市	秋田県	気象庁	東北地整
■洪水を安全に流すためのハード対策									
	河道掘削								米代川の流下能力の低い区間において、河道掘削を実施 ・大館市長坂大巻屋布地区で河道掘削を実施 ・能代市ニソ井滑良子川端地区で河道掘削を実施
■危機管理型ハード対策									
	堤防天端の保護 堤防裏法尻の補強								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
	簡易水位計等の 基盤整備						<簡易型の河川監視カメラの整備> ・6月開催予定の県管理河川減災対策協議会で設置位置等を説明し、整備。		

○ソフト対策の取組内容〔令和2年度計画〕

項目	分類	具体的取組	能代市	北秋田市	大館市	鹿角市	秋田県	気象庁	東北地整
①住民が自ら安全に避難するための取り組み【逃げ遅れない】									
■リスク情報の周知や防災教育・訓練等に関する事項									
防災訓練	1	<p><米代川流域内合同危機管理演習> ・大規模洪水を想定し、関係機関の防災システムやタイムラインを活用した、実践的な訓練の実施</p>	<p>○「情報伝達方法」 ・5月15日に実施した「洪水対応演習」で、情報伝達訓練を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策などにより、今年度は見送りとしている。 ○「タイムラインの深度化」 ・直轄区間3市はワークショップを実施済み。</p>	<p><総合防災訓練> ・阿仁地区を会場に総合防災訓練を実施予定(9月6日)</p>	<p><総合防災訓練> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止 ・秋に自主防衛組織訓練を市内3箇所で実施</p>	-	<p><県総合防災訓練> 8月30日、由利本荘市において地震等を想定した避難、避難所開設、救出救助等を実施予定(新型コロナの関係で、参加者限定) 【継続】(支援) ・市町村主催の水防訓練への支援(開催場所の提供、水防資材の貸与) ・防災訓練に参加</p>	<p>秋田県総合防災訓練等、関係機関の実施する防災訓練には積極的に協力いたしますので、是非お声掛け頂きたい。</p>	<p>【継続】(支援) ・各機関と確認・調整し、災害対策車両の展示など必要な支援を実施</p>
		<p><防災訓練> ・大規模水害を想定した住民参加による防災訓練の実施</p>	<p><総合防災訓練> ・能代市総合防災訓練を秋に延期し実施予定 日程未定</p>						
リスク情報周知	2	<p>・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表</p>							
		<p>・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知</p>	<p>・H28作成及び公表済 ・出前講座や防災フェア等で周知活動を実施</p>	<p>・ハザードマップの修正を検討</p>	<p>・ハザードマップの修正を検討</p>	<p>【継続】 ・洪水ハザードマップを作成中(全戸配布9月予定)</p>		<p>【継続】(支援) ・各機関と作業状況に対応して必要な支援を実施</p>	
防災教育・広報	3	<p>・教育機関等と連携し、小学校等への「出前講座」の拡充実施 ・「就業体験」や「現場見学」など、いろいろな機会を利用した防災講話等の実施(近年の災害を意識した講座)</p>	<p>・学校、自治会等へ防災担当者が出向いて防災に関する講話や図上訓練を行う「出前講座」を開催 ・小学校の正課クラブで防災に関する講座を開催</p>	<p>・出前講座による、防災講話の継続実施 ・秋田北鷹高校 課題研究授業</p>	<p>・小中学校で実施する出前講座などを通じて、防災に関する事項や避難所開設運営の指導を実施</p>	<p>【継続】 ・自治会等を対象にした出前講座を実施</p>	<p>・防災士を自主防災アドバイザーとして自主防災組織へ派遣するとともに、自主防災組織や町内会のリーダー、消防団員、市町村の職員、小中高生、教諭等を対象に、防災講話や避難所運営訓練等を実施</p>	<p>【継続】教育委員会と連携した学校安全外部指導派遣事業 引き続き、防災気象情報に関する講座等を実施予定。 【継続】地方公共団体防災担当者向け気象防災ワークショップ 秋田県と協力し、避難勧告等の判断のポイント学ぶため、防災対応の疑似体験</p>	<p>(防災講話) ・いろいろな機会での防災に関する講話を実施 ・現場見学、インターシブ、「水文等水位観測員講習会」等</p>
		<p>・教育機関等と連携し、学習指導計画の作成を支援(教材・資料の提供含む)し、県管理河川を含む協議会に関連する市町村全ての学校に共有</p>							<p>・昨年度、各教育委員会及び小・中学校へ配布した防災教育支援資料について、学校の防災教育の時間等で使用していただくとともに、必要であれば、出前講座など実施。</p>
		<p>・流域住民の防災意識向上を図るため、イベント等での広報・啓発活動の強化</p>	<p>・学校、自治会等へ防災担当者が出向いて防災に関する講話や図上訓練を行う「出前講座」を開催 ・イベント等の際に防災に関する啓発活動を実施</p>	<p>【継続】 ・各種イベント、住民参加イベント等での啓発等を実施</p>	<p>【継続】 ・町内会などを対象に防災意識・知識の向上を図るため、出前講座などを実施</p>	<p>【継続】 ・要望がある自治会及び自主防災会に出向き、防災訓練を行う</p>	<p>【継続】 <減災対策協議会資料の情報提供> ・引き続き県管理河川減災対策協議会の資料を県のホームページで随時更新のうえ、県管理河川の現状や課題、対応方針等の情報を提供</p>	<p>・お天気フェア 新型コロナ感染防止対策の観点から今年度の開催は中止</p>	<p>・今年度も、流域内の各種イベントにおいて、広報活動(パネル展)を実施し、広報・啓発活動を行っていく。</p>
土地利用対応	4	<p>・水害常襲地区の利用・建築等への助言・指導を継続</p>	<p>【継続】 ・水害常襲地区の利用・建築等への助言・指導を随時実施</p>	<p>【継続】 ・水害常襲地区の利用・建築等への助言・指導を随時実施</p>	<p>【継続】 ・水害常襲地区の利用・建築等への助言・指導を随時実施</p>	<p>【継続】 ・水害常襲地区の利用・建築等への助言・指導を随時実施</p>			

：支援

○ソフト対策の取組内容〔令和2年度計画〕

項目	分類	具体的取組	能代市	北秋田市	大館市	鹿角市	秋田県	気象庁	東北地整
■発災時の迅速かつ確実な避難に関する事項									
防災計画	5	・住民目線のタイムラインの作成と改善(市独自を含む)	【継続】 ・洪水発生後には検証しタイムラインの見直しを検討	【継続】 ・大雨や洪水などの災害発生後にはタイムラインの検証を実施	【継続】 ・大雨や洪水などの災害発生後にタイムラインの検証を実施	【継続】 ・初動体制マニュアル及びタイムラインの修正	【継続】 ・必要に応じて、タイムラインを修正	・【継続】県、市町村でのタイムライン作成支援	【関連】 (防災体制の改善) ・洪水発生時や訓練時にタイムラインを検証し、随時改善していく ※鹿角市において、R元年度に浸水想定区域を策定し、今年度以降、タイムラインの深度化についても検討。
	6	・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充 災害情報メール、 緊急速報メール 、防災ラジオ など ・洪水時の 情報を入手しやすく する。気象情報発信時の「危険度色分け」や「警報級の現象」等の改善	【継続】 ・避難勧告等の発令や避難所開設情報等は防災行政無線、災害情報メール等で随時周知 ・早川水門(悪土川)の閉鎖状況について、悪土川流域自治会へ電話連絡するとともに防災行政無線で周知	【継続】 ・防災ラジオの普及率向上に向けた取組等は防災行政無線、災害情報メール等で随時周知	【継続】 ・緊急時情報一斉配信システムへの登録者数を増やすため、イベントや出前講座などで呼びかけを続けていく	【継続】 ・防災ラジオ、防災メールを活用し、災害情報などを住民に周知	<情報伝達手段の充実> ・「河川砂防情報システム」を改良し、簡易型の河川監視カメラの画像を表示。	・【継続】ホットラインによる情報提供	【継続】 ・水防警報・洪水予警報及び氾濫危険情報、氾濫発生情報の緊急速報メール配信(随時) ・ホットラインによる情報提供(随時) ・森吉山ダムの災害情報等について、警報設備、北秋田市の防災ラジオを活用して情報提供(随時)
②災害時に人命と財産を守る水防体制の強化【備える】									
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する事項									
水防体制	7	・水防団等との重要水防箇所の巡視(市独自を含む)	【継続】 (合同巡視) ・国土交通省が開催する重要水防箇所合同巡視に参加	【継続】 (合同巡視) ・国が開催する重要水防箇所合同巡視に参加	【継続】 (合同巡視) ・国管理区間(国主催)、県と市の管理区間について、重要水防箇所合同巡視を実施	【継続】 (合同巡視) ・国が開催する重要水防箇所合同巡視に重要場所の確認を行う	【継続】(合同巡視) ・国が開催する重要水防箇所合同巡視に参加 ・県管理河川における市・市町村合同巡視を実施		(合同巡視) ・能代市6/20・北秋田市6/11・大館市5/29に、各機関、国で重要水防箇所等の合同巡視を実施予定
		・水防団・自主防災組織などが参加した水防訓練の実施	【継続】 ・水防訓練を秋に延期し実施予定 ・消防団による水防工法実施 日程未定	【継続】 (水防訓練) ・消防団員等による水防工法訓練を実施 日程未定	(水防訓練) ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止	【継続】 [水防訓練] ・5月31日に鹿角・小坂水防訓練を実施 中止	【継続】<支援> ・市町村を対象に水防連絡会を開催 ・市町村の水防訓練に参加・支援	【継続】引き続き協力・支援を行う	【継続】<支援> ・各機関の水防訓練計画に対応して、必要な支援を実施
	・要配慮者利用施設等の避難確保計画・避難訓練への支援	【継続】 ・浸水想定区域内の福祉施設に対し、避難確保計画の作成支援を実施	・要配慮者利用施設等の避難確保計画・避難訓練実施への支援を強化	浸水想定地域内に立地する要配慮者者利用施設に対して、避難確保計画・避難訓練への支援を継続していく	【継続】 ・防災ラジオの無償配布 ・避難確保計画の作成支援	【継続】<支援> ・県管理河川減災対策協議会での避難確保計画策定等に関する情報提供	【継続】引き続き要配慮者利用施設の避難確保計画作成のための講習会等への協力・支援を行う。	【継続】 ・全国の取組事例等を随時情報提供	
	8	・水防資機材の保有状況の確認、 情報共有 ・ 確実な水防資機材の補充	【継続】 ・水防活動等に必要資機材のストック状況の確認及び必要数の整備・確保	【継続】 ・水防資機材の保有状況について、消防本部と情報を共有する	【継続】 (点検確認) ・水防資機材の在庫確認や点検	【継続】 ・水防倉庫の定期的な在庫確認を実施	【継続】 ・5月に水防倉庫の資材を確認し、必要に応じて資材の補充を実施	【継続】 ・定期的な水防資材を確認し、不足資材の補充を実施	
③一刻も早く日常生活を取り戻すための取り組み【早期の回復】									
■排水訓練、地域連携に関する事項									
排水施設	9	・排水訓練の実施に合わせた、 地域住民への周知 活動の実施 ・排水施設等の情報共有							(活動の周知) ・出水時対応の理解を得るため、排水作業訓練において周辺住民にお知らせし実施(能代市悪土川で4月24日に排水ポンプ稼働試験)
		・大規模氾濫時の排水計画(案)を作成							・米代川流域で市街地を除く部分について、計画を作成
自治体間連携	10	・自治体間 相互連携(流域共助)の強化 (受け入れ体制強化)	・米代川減災対策協議会等への参加し情報を共有	-	・情報共有を図り、受け入れ支援体制について検討を進める	-			

：支援